

## 平成 29 年度第 2 回 総合教育会議 議事録

会議名称	平成 29 年度第 2 回 総合教育会議
開催日時	平成 29 年 11 月 6 日（水） 11 時 00 分～12 時 00 分
会 場	芦屋町 本庁舎 3 階 課長会議室
委員の出欠	<p><b>【委員】</b></p> <p>町 長           波多野 茂丸       〔出席〕</p> <p>教 育 長       三 柵 賢二       〔出席〕</p> <p>教育委員       長戸 隆弘       〔出席〕</p> <p>教育委員       井上 弘行       〔出席〕</p> <p>教育委員       本田 幸代       〔出席〕</p> <p>教育委員       山元 彪ノ介     〔出席〕</p> <p><b>【委員以外の出席者】</b>（オブザーバー）</p> <p>副 町 長           鶴原 洋一</p> <p>学校教育課長     新開 晴浩</p> <p>生涯学習課長     本石 美香</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>企画政策課長                   中西 新吾</p> <p>企画政策課 企画係長           本郷 宣昭</p> <p>企画政策課 企画係             和田 佳奈子</p>
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 29 年度の取り組み状況について（中間報告）</li> <li>2 今後の学力向上の取り組みについて</li> <li>3 平成 30 年度総合教育会議の協議事項及びスケジュールについて</li> <li>4 その他</li> </ol>
合意・決定事項	議題 3 について了承される
傍聴者	なし

# 平成 29 年度第 2 回 総合教育会議 議事録

## 1 町長あいさつ

芦屋の子どもたちの教育に対し、どういう取り組みを行っていくのか、本日の議題となっている。皆さんの忌憚のない意見をお願いします。

## 2 議 題

### (1) 平成 29 年度の取り組み状況について（中間報告）

#### 【説明概要】

#### ■学校教育の取り組み

※教育大綱に沿って、「学校教育の取り組み」について三桝教育長より説明。

#### ①学力向上の取り組み

議題 2 で説明するため、省略。

#### ②豊かな心の育成

○国が進めている道徳の教科化に向けた研修の充実と議論を中心とした道徳授業の改善を図るため、北九州市教育事務所・北九州市立教育センターの研修会への積極的な参加に取り組んでいる。

○芦屋中学校の教員が福岡教育大学附属小倉中学校における道徳の短期派遣研修を受講し、最終日に同中学校生徒を対象とした授業公開を行った。山鹿小学校で 11 月 2 日に行われた小中連携教育の授業でも授業公開を行ったが、議論を中心とした授業実践までにはいたっておらず、今後、道徳の授業の改善が必要である。

○語先後礼のさらなる定着と児童・生徒による挨拶強化週間の充実については、それぞれの学校で実践中である。中学校については、挨拶強化週間として生徒会が中心となり朝の挨拶運動を積極的に展開している。

#### ③芦屋型小中一貫、連携教育の推進

○保・幼担当者と小学校低学年担当者との連携の強化については、まだ出来ていないため、新年度に向けて幼保の小学校訪問の際に連携を図りたいと考えている。

○保・幼担当者と小学校低学年担当者との連携や、外国語担当者部会を定期的開催し、各校の情報交換と先進校の情報収集を図っていききたい。

#### ④特別支援教育の推進

○芦屋型学習課程にあるユニバーサルデザイン化については、ユニバーサルデザイン化を意識した授業実践による教師の専門性の向上を図っていく。

○サポートシートを活用した保護者との連携促進については、サポートシートを十分に活用できておらず、課題となっている。

○来年度より、特別支援教育の充実のため、各校 1 名ずつ特別支援教育の介助員の増員

を考えている。

#### ⑤健やかな体の育成

○体力・運動能力の向上のための実態に即した体力向上プランの作成、体力アップシート等を活用した運動の日常化については、それぞれの学校で実施をしており、山鹿小学校が県の健康教育の重点課題指定委嘱を受けている。この先進的な取り組みを各校へ広げたいと考えている。また、これについては、11月19日開催予定のスポコン広場（県主催のスポーツコンテスト）への積極的な参加を呼びかけている。

#### ⑥シビックプライドの醸成

○シビックプライドの醸成については、今年度特に力を入れていきたい、積極的に働きかけを行っている。

○児童・生徒や保護者への啓発活動を通じて、学校の教育活動以外での特色ある地域活動への参加促進を図っている。これは、あしや学として各校が実施している。しかし、活動への参加促進のため、チラシを製作し配布をしたが、思ったよりも参加者は増えなかった。今後も根気強く呼びかけを行っていきたい。

○今年度新たな取り組みとして、芦屋の「ひと、もの、こと」を活用したあしや学の充実を図るため、各校に砂像展への積極的な参加を呼びかけた。これにより芦屋東小学校が3・4年生全員参加、芦屋小学校・山鹿小学校が全学年参加した。来年度からあしや学として総合的な学習として、カリキュラムに入れるよう学校に依頼している。

### 【意見】

○ICT 機器導入に関する進捗状況はどうなっているか。（町長）

→今年度29年度4月より学校教員を中心とするICT部会を5回開催し、教員自ら機器を選定するようにしている。平成30年9月の2学期より町内すべての小中学校でICTを使った授業をスタートしたいと考えている。（学校教育課長）

○先進地視察についてはどうであったか。（町長）

→佐賀県武雄市北方中学校と熊本県山江村山田小学校の教育委員会職員と子どもたちから話を聞いた。7～8年前からタブレットを使用しているため、子どもたちは当たり前のものとして使いこなしている。電子黒板については、7年以上使用しており更新を検討しているが、予算の優先順位よりタブレットの更新を優先させ、財源については検討中とのことである。（学校教育課長）

### ■社会教育の取り組み

※教育大綱に沿って、「社会教育の取り組み」について本石生涯学習課長より説明。

#### ⑦生涯学習の総合的な推進

○生涯学習講座「あしや塾」の充実に努め、年度当初に108講座を計画するとともに、関係各課と連携して地域の課題を解決する講座の導入を進めている。9月には中央公民館と健康・こども課が連携し、「賢い病院のかかり方」と題して講座を実施した。

11月18日には福祉課と連携し、認知症についての講座を行う予定である。

- 公民館活動において実施している「土曜学び合いルーム」では、九州女子大学・九州女子短期大学との包括的地域連携協定により、学生ボランティアの派遣が充実されたことで、運営の充実を図ることができている。

#### ⑧生涯スポーツの推進

- 運動を始めるきっかけづくりにつなげるため、健康づくり講座として、今年度は5月～6月に「スロートレーニング講座」、8月～9月に「ヨガ講座」、10月に「ポールウォーキング講座」を計画していた。「ポールウォーキング講座」は台風接近により中止となったが、他の2講座については参加者の満足度も高く、引き続き実施していきたいと考えている。この健康づくり講座をきっかけに、総合体育館のトレーニング室に通う方が現れるなど、総合体育館の施設利用が増えている。

#### ⑨歴史・文化の保護と振興

- 芦屋釜復興のため、芦屋鋳物の周知や鋳物師の独立・育成支援を進めているが、10月1日～5日まで福岡三越開店20周年記念事業として、展覧会「芦屋釜の美」を開催した。福岡市茶道文化連盟による「天神市民茶会」と同時開催し、期間中延べ7,061名を動員した。福岡市の茶人を中心に芦屋釜を周知することができ、百貨店での展示会開催により、現代の芦屋釜の評価を上げることができた。また、2人の鋳物師について周知を図ることができ、効果的な鋳物師支援になった。

#### ⑩人権・同和教育の推進

- 毎年7月に実施している人権講演会は、悪天候のため中止としたが、現在、12月9日に開催する「人権まつり」の準備のため、芦屋町人権・同和教育研究協議会による実行委員会にて検討・準備が進められている。
- 今年度は男女共同参画推進プランの中間年にあたるため、職員ワーキングや男女共同参画審議会による見直し検討が進められている。

#### ⑪社会性を育む青少年体験活動の充実

- 子どものチャレンジ精神や規範意識などの社会性を育むため、年間を通じて様々な活動を行う「あしやハンズ・オン・キッズ事業」や「ぼらんていあキッズ事業」を今年度も実施している。なお、ふるさと意識の醸成を育む「佐野市青少年交流事業」は、佐野市の子どもたちを芦屋町に迎えて実施することとなっていたが、台風接近のため中止となった。
- 新たに短期間体験活動事業及び家庭教育力向上事業として、親子で参加する「チャレンジキャンプ」事業を10月14・15日に実施し、子どもの学びの状況を親が共有することで、子どもの成長について考えるきっかけづくりになった。

#### ⑫青少年のための安全・安心なまちづくり

- 生涯学習課だけでなく、学校教育課、小中学校、地域づくり課及び芦屋町自治防犯組合とも連携し、登下校時を中心に青パトによる安全パトロールを実施するとともに、

不審者情報の提供及び発生時のパトロール対応を実施している。

○芦屋町青少年健全育成町民会議及び校区育成会による「あいさつ運動」などの活動支援も引き続き行っている。

#### 【意見等】

○百貨店での展示については、2人の鋳物師のプロフィールがあれば、なおよかった。(委員)

### (2) 今後の学力向上の取り組みについて

※三柵教育長より説明。

#### ■基礎・基本となる学力の定着

○各学校では分かりやすい授業、学力向上プラン、重点取り組み等を実施している。

○教育委員による授業参観、学校訪問を実施した。

○教師主導の教え込む授業ではなく、今後は問題解決学習等を位置づけた教育活動の定着を図っていく。

#### ■組織的・効率的な環境づくり

○ICT教育推進計画の早期策定と授業への活用促進を図っており、教員自らが主体となり電子黒板の選定を行っている。

○早期からICT機器を取り入れている佐賀県武雄市、熊本県山江村へ先進地視察に行った。

○教員の働き方の見直しと子どもと向き合う時間の確保のため、タイムカードによる勤務実態把握の推進、授業時数の算定と夏休みの短縮、夏季休業日中の学校閉庁日の設定の検討を行った。

### (3) 平成30年度総合教育会議の協議事項及びスケジュールについて

#### 【説明概要】

※事務局より説明

○次第のとおり、年2回の開催を基本とし、8月上旬に1回目、2月に2回目を開催する案を提示。

#### 【結果】

案のとおり了承される。

#### 【意見等】

なし

### (4) その他

なし